



発行 真言宗豊山派 霊松山歓喜院
金剛寺

〒371-0241 前橋市苗ヶ島町 1147
TEL 027(283)6918 FAX 027(283)6815
<http://www.raijin.com/kongouji/>

「縁は異なるもの」

日蓮宗 實相寺 前任職 井出 存祐



初めて金剛寺さんをお参りしたのは二月八日です。なぜ参詣したかという
と昔上州の生んだ侠客田島栄五郎（大前田栄五郎）の研究を始めて十日程でした。栄五郎の菩提寺に最初に参詣してその後各種の書物や史料を探ろうと思っただけです。

初対面の志田洋遠住職さんと話しているときも初対面とは思えません。話とすると問もなく「暫くですね」というので「はてな・・・どこかでお会いしたのかな」と考えながら会話をしました。気の合った者同士ということでしょうか。このことは「所謂諸法。如是相。如是性。如是体。如是力。如是作。如是因。如是縁。如是果。如是報。如是本末究竟等」という法華経方便品の説かれた真実そのものです。

私ども日常生活で「原因」と「結果」と結び付けて物事を判断しがちですが、そうではありません。原因、結果の間には「縁」が必要であり大切なことです。因、縁、果、の連続性が肝要です。例えば、珍しい種粉（因）があつたとします。貴重な種だからと言つて家の中で（縁）を得ようと蒔いても、実り（果）はありません。

このように日常生活の中で見る限り、真実の相（姿）に氣付かされます。さて、自己紹介に入ります。志田住職さんとは縁もゆかりもありません。しかし、はじめてお会いしたときから話すうちに「氣が合った」状態が生まれました。田島家の菩提寺であり栄五郎の存在が縁を結んでくれたといえます。

私は今「認定臨床宗教師」という心のケアの仕事をしていきます。これは二〇一一年の東日本大震災を機に東北大学で養成がはじまり、多くの宗教者、医療者がこの課題に取り組み始めました。臨床宗教師は欧米ではチャプレンに対応する日本語として考えられました。宗教者が布教伝道をするのではなく、相談者の価値観を尊重しながら対応しています。仏教、神道、キリスト教、の関係者は協力して活動しています。

医師と連携して相談業務を推進している機関や宗教者もいます。欧米のチャプレンは、軍人、教員、消防士などさまざまな分野の人々のケアの専門家として存

在しています。我が国でも今後研究が進むでしょう。

さて、志田住職さんもますますご多忙の中、布教伝道に邁進されております。檀信徒の皆様もそのころを自分ものとして受け止めて心の糧として頂きたいと思ひます。

法華経の譬喩品の中に「膚色充潔に形体殊好にして大筋力あり。行歩平正にして其の疾きこと風の如し」これは筋肉、手、足を丈夫にしよう。ということ。どうぞ健康を維持してご先祖さまを敬い寺門の護持にご精進ください。

合掌九拝



群馬県桐生市・相應寺

廃寺寸前からの新本堂建立

江戸期学僧 快道和尚の事蹟顕彰

群馬県桐生市の真言宗豊山派相應寺（志田洋遠代務住職）で7月29日、新本堂の落慶法要が厳修された。住職と全檀家42軒が力を合わせて、廃寺寸前から一転、地域の拠り所として再興。檀家の一



全檀家42軒が力を合わせて建立した新本堂。
「小さなお堂だが、気持ちは大伽藍だよ」（志田住職）

人は、「これから新しい本堂でいろいろな行事をするのが楽しみだ」と晴れやかな笑顔を見せた。
同寺の無住職期間は、遙か戦前までさかのぼるようだ。戦中・戦後の混乱期に

は住宅として用いられ、「2世帯が暮らしていた」（檀家）。その後も放置され続け、崩れそうな本堂内には最近まで竹が生い茂っていたほど。ある檀家は、「私は62歳だが子供の頃からこんな感じ」と言う。仏事や行事で本堂が使われる事は全くなかったようだ。

そうした中、3年前に同寺に近い前橋市苗ヶ島町・金剛寺の志田住職が代務住職に就任。総代らと話し合っているうちに、「頑張って本堂を建てよう」という計画が持ち上がった。平成28年11月に旧本堂を解体。新本堂建設工事を開始した。

同時に、寺の歴史も調査。古記録等はすでに散逸していたものの、江戸初期の寛永12年（1635年）の創建であることが判明。これまでに3度の火災に遭い、今回が4回目の再建に当ることもわかった。

さらに同寺は「真言密教三密の一人」と称される江戸中期の学僧・快道和尚修行の聖地で、境内には「快道法印」の墓碑（五輪塔）も。隣村出身の快道和尚は、少年期に同寺で出家。後に大和・長谷寺に登り、在山30数年、豊山教学の研鑽に励んだという。同寺では、快道和尚顕彰の活動も始める予定だ。

志田住職は落慶法要の表白で、豊山教



学を大成した快道和尚の事蹟を顕彰。式典の挨拶では、「感無量。小さいお堂だが、こんなに心のこもった本堂はない。気持ちは大伽藍だよ」涙で声を詰まらせた。檀家総代の萩原博明さんも、涙で謝辞。「（皆で浄財を出し合い）せっかくなってきた本堂。再び朽ち果てさせるわけにはいかない」と力強く述べ、地域一丸となって護寺していくことを誓った。

同寺があるのは、旧新里村。前橋市と桐生市の間に位置し、両市のベットタウンとして人口が増加している活気あふれる地域だ。同寺では今後、境内整備や墓地造成も行い檀家数を増やしていきたい考えだ。

（2018年8月9日）

仏教タイムス記載）

相應寺本堂落慶法要に参加して

渋谷 美幸

私は今まで機会があれば、という程度でふだんはそれほどお寺などに興味があったわけではありませんでしたが、お寺の落慶法要は滅多にお目にかかれるものではないと思い、是非見てみたいと思い今回参加させていただきました。

参加してみると、このような小さい本堂で、4人もの僧侶が同時にお経を唱え、その声量と迫力は素晴らしい部屋中に響き渡り、今までに経験したことのないすばらしさでした。

私の家の墓のすぐ横に古いお墓がいくつか並んでいて、お坊様のお墓だということでは聞いていたのですが、志田住職のお話から快道和尚様のお墓で、真言密教三密の一人と称される素晴らしい和尚様が修行をされた由緒あるお寺だとお聞きし、またそんなにすごい和尚様のお墓がこれのお寺にあるとわかり、このような素晴らしい歴史と由緒あるお寺だったのだと改めて思い知り、廃墟同然のお寺しか知らなかったので、感慨深いおもいでいっぱいになりました。

また、お坊様は生きている人のためにあるのだという志田住職のお言葉を聞き、目からウロコのような気持ちでした。

今までお葬式や亡くなった方の法要でしか関わりがなかったもので、そんな風に考えたことがありませんでした。

とはいえ、よほどのことがないと相談できないと思いますが、本当にどうしようもないときは相談できるのだと思うと心強く思います。

この由緒あるお寺を立派に再建していただいた志田住職と役員、関係者の方々に感謝し、これから護寺、守っていただけるよう、少しでも協力できればと思います。

このような場に参加できたことを感謝いたします。
本当にありがとうございました。



ミュージック・ケア

茨城県日立市金沢町 諸田 なみ子

金剛寺、住職様には祖父母、父より世代を引き継ぎ支え、又、お世話になり、有難うございます。

節目の折には、神髄より世の中の取り巻く世相の状況等お話し下さり、心より感謝しております。

住職様よりご縁を戴きまして私の活動している「ミュージック・ケア」について紹介と実践体験を報告いたします。

最近、テレビ、新聞等で音楽の必要性を重視され音楽療法として「ミュージック・ケア」を福祉・医療・教育地域の交流センター等声を架けて下さった所に行き、セッションを行っております。

●ミュージック・ケアとは
音楽の特性の一部を利用して、その人がその人らしく生きるための援助をすることであり、子供の場合はその子供の持っている力を最大限に發揮させ、発達の援助を行うことである。

●ミュージック・ケアのねらい
音楽の特性を生かして、対象者の心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、情緒の回復や安定を図る。更に運動感覚や知的機能の改善を促し、対象者の心身と生活に好ましい変化を与える。

●「ミュージック・ケア」の対象者
一般乳幼児・脳性まひ児・知的障害児(者)・自閉的傾向児・言語障害児

(者)・重症心身障害児(者)・強度行動障害児(者)・盲重度知的障害児(者)・認知症老人・寝たきり老人・脳卒中後リハビリ・精神障害者・一般人。

●ミュージック・ケアの効果
主な効果として、関係性の発見と改善、コミュニケーション、情緒の安定、不安行動の軽減、自己コントロール、身体機能の促進、発達の促進、リラクゼーション、生きがい、集団参賀の促進、言語の発達、発話の促進。

●介護予防としてのミュージック・ケア
少子高齢社会を向かえ、地方自治体の財政を維持する為には、健康寿命を延ばすための健康な人作りが必要である。ミュージック・ケアは楽しみながら活動を維持することができるので、介護予防としても有効である。

●子育て支援としてのミュージック・ケア
核家族や少子化などにより子育てに悩む母親たちが多くなっている。スキンシップや褒め方、関わり方などを親子で体験する場として、ミュージック・ケアの役割が重要になってくる。発達障害と言われる子供達が多くなっている。早期の取り組みが必要となるがミュージック・ケアはコミュニケーション能力、自己調整能力を養う為に期待される。

【実践】

●福祉関係で身障者(聴覚・視覚・心身)50名位のセッション時、曲に合わせて身体を動かし、歌いながら又は、楽器を鳴らしながら楽しみます。参加者は一体感、達成感を感じ「やれば出来る」と言っていただけ皆様より沢山の笑顔になって下さいます。

●地域に定着しております、健康クラブに介護予防として「ミュージック・ケア」を入れさせて戴き、身体を動かし、二人組や全体で輪になり、オリジナルの曲、クラシック、演歌などプログラムに入れます。終わった瞬間「楽しかった、身体が軽くなった・・・」と相互関係も生まれ喜んで下さいます。

●幼児・子供の場合、興味を示す、親しみの曲から始め、曲の流れにシャボン玉を入れ、リラックスマードから始めて行きます。安心出来る様、お母さんのひざの上に乗せて手遊びから次第に軽快なリズムの曲に進め、ボール、太鼓等、子供自身親から離れて参加出来るように変化して行きます。音楽の力が子供の進歩を感じさせて戴いております。

ミュージック・ケアで私も多くの方とふれあわせていただき、気付かされ、皆様に勉強の場をいただいている事に感謝いたしております。住職様に御縁をいただきまして、私の活動を紹介させて頂いた大きな大変な感謝申し上げます。有難う御座いました。



ブッタがせんせいを読んで

下川淵小学校 4年1組 中村 優里



五月十二日に「ブッタがせんせい」を読みました。本当の名前は、ゴータマ・シッタタと書いてありました。ゴータマ・シッタタ先生は、いまからおよそ二千五百年前に、インドの北の地方に生まれたそうです。ゴータマ・シッタタ先生は六年ものあいだ、きびしいしゅぎょうをしたそうです。そんなブッタがせんせいを読んで私はいくつか感想をもちました。

「あれもほしい、これもほしい、心がふわふわするとき、なくてもへいきと、思っごらん。」というよくばりな心の気持ちは、なくてもへいきと思うことが、大切だと、文を読んでわかりました。これからもブッタのように、心優しい気持ちを大切にしていきたいと思っます。

行政相談をご存じですか？

総務省行政相談センター 西 敬徳



突然ですが、皆様は、総務省の行政相談をご存じでしょうか？

金剛寺の志田洋遠住職は、行政相談において、永らく行政相談委員として地域住民の皆様のご相談に対応し、現在、群馬の行政相談委員全員が会員となっている群馬行政相談委員協議会の会長も務めておられます。

行政相談業務が開始されたには昭和30年、行政相談員が初めて委託されたのが昭和36年ですから、いずれも約60年の歴史があるわけですが、残念ながら、行政相談制度についてまだまだ知らない方も多いのが実情です。

ところで、この度、志田住職にご配慮いただき、この寺報で、行政相談についてご紹介できることとなりましたので、この機会に、ぜひ行政相談を知って、利用していただければ幸いです。

○総務省の行政相談とは

行政相談は、国の行政などへの苦情や意見・要望を受け付け、公正・中立の立場から、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かす仕組みです。

無料で、難しい手続きも必要なく、医療保険・年金・雇用・道路・社会福祉・交通機関など、いろいろな行政分野の幅広い相

談に対応しており、どこに相談してよいかわからない問題や、複数の機関が関係し、連絡や調整が必要な問題についても、お気軽にご利用いただけます。

ご相談は、全国50ヶ所の総務省行政センター（愛称「きくみみ」）と全国約5、000人の行政相談委員が受け付けています。

○総務省行政相談センター「きくみみ」について

総務省行政相談センター「きくみみ」では、来所のほか、電話、ファクシミリ、手紙、インターネットにより相談を受け付けており、電話については、全国共通の行政苦情110番0570・090110（おこま）りならまるまるくじょうひやくばん）からお近くのセンターにつながります。

総務省行政相談センター「きくみみ」群馬

きくみみ群馬



総務省行政相談センター 行政相談のマスコット「キクーン」

○行政相談委員について

行政相談委員は、総務大臣が委託した民間有識者で、各市町村に1名以上、全国に約5、000名が配置されています。無報酬のボランティアとして、役場、公民館等で定期的に相談所を開設し相談に応じるなど、各種の活動を行っています。

群馬県内には90名の行政相談委員があり、前橋市では志田住職を始めとした行政

相談委員10名が、市役所市民相談室、支所、市民サービスセンター等で定期的に相談所を開設しています。

○行政相談事例の紹介

それでは、きくみみ群馬や行政相談委員に実際に寄せられた身近な事例を紹介しましょう。

（事例1）

行政相談委員に「自宅南側の隣地が約30年放置され、雑木等が生い茂っている。道路に面しているため、たばこの投げ捨て等による火災が心配であるほか、野生動物が住み着いているようで不安である。」との相談が寄せられました。

行政相談委員と市役所支所が、相談者の立会いのもとに現地を確認し、同支所が所有者に要請したところ、雑木の伐採等が行われました。

（事例2）

きくみみ群馬に「妹と2人で賃貸住宅に同居し、生活保護を受けているが、妹は振り込まれた生活保護費を一切自分に渡さず、自分が僅かな収入から家賃を支払っており、困っている。」との相談が寄せられました。

相談者が、

きくみみ群馬の助言を踏まえて市役所に相談したところ、生活保護費のうちの家賃分が市役所から賃貸住宅の大家に直接支払われることとなりました。



宮城地区自治会役員との懇談会で説明する志田住職ときくみみ群馬職員

○行政相談制度の広報について

きくみみ群馬と行政相談委員は、多くの皆様に行政相談を知り、利用していただけるよう、ポスターの掲示、チラシの回覧、市町村の広報紙への記事掲載、コミュニティFMでの告知などにより行政相談制度を広報しています。

また、自治会役員、各種委員との懇談会の開催なども行っており、平成31年2月には金剛寺が所在する前橋市宮城地区で自治会役員の皆様との懇談会を開催、志田住職とセンター職員が行政相談制度について紹介したところ、参加した役員の皆様からご好評の声をいただきました。

○おわりに

これからも、きくみみ群馬では、行政相談委員と力を合わせて、住民の皆様からの相談に応じるとともに、一人でも多くの方に行政相談制度を知り、活用していただくよう努めて参ります。

何かお困りごとがありましたら、お気軽に行政相談をご利用ください。

「困ったら一人で悩まず 行政相談」

行政相談

行政相談委員は、総務大臣から委嘱されているあなたの身近な相談相手です。

定例相談

場所：宮城支所
日時：毎月十八日
※土日のとき、翌月曜日
十三時～十五時

担当委員：志田洋遠



【無料・秘密厳守】 学校(教育)のことでもなんでもOKです。

「花の駅」

施設新たに4カ所



新入会の4施設にオリジナル看板を手渡した式典

「花の駅」を掲げて誘客する施設でつくる、ぐんま花の駅ネットワーク推進協議会（福田具可会長）に新たに4カ所が加わり、29日に前橋市のカネコ種苗ぐんまフラワーパークで式典が開かれた。

新たに加わったにはロックハート城（高山村中山）・金剛寺（前橋市苗ヶ島町）・岡田ガーデン「葉っぱの詩」（太田市新田反町町）・県金山総合公園ぐんまこどもの国（同市長手町）。会員は合計21施設となった。

式典は第12回会合の中で行われ、4施設の代表者に花の駅のオリジナル看板が手渡された。岸邦夫副会長は「力を合わせて活動を推進していく」とした。

会合では会員増に伴うパンフレットやポスターの刷新や、第2回スタンプラリーの開催などが話し合われた。同協議会は2016年に発足し、花の名所を生かしたPR活動に取り組んでいる。（上毛新聞）

金剛寺

霊松山歎喜院 前橋市苗ヶ島1148 ☎027(283)6918 前橋市重要文化財

会期：2018年7月2日～31日
会場：しのめ信用金庫前橋営業部ロビー
※ご観覧は店舗の営業時間に限り
371-0022 前橋市千代田町2-3-12 ☎027-230-9100

撮影：黒崎晴夫（日本リアリズム写真集団会員）
※開催中作者及び専任スタッフは駐在しませんのでご家族ください。
連絡先：☎027-261-1758

撮影協力：霊松山歎喜院 金剛寺 二十四孝 唐婦人
金剛寺欄間彫刻、18世紀後半を中心に活躍した黒保根町上田沢出身の彫物師、関口文治郎有信作。

間近に見た彫刻は今にも弾けんばかりの躍動感を見せる。虎はギョロリと虚空をにらみ、童子は袖に風を受け飛び回り、老人は軍配を振り上げる姿は、しばし撮影者をほろろうする。

欄間彫刻展

昨年7月に展示されました。
また機会がありましたらどこかで見て戴けたらと思います。



彫物師関口文治郎有信作

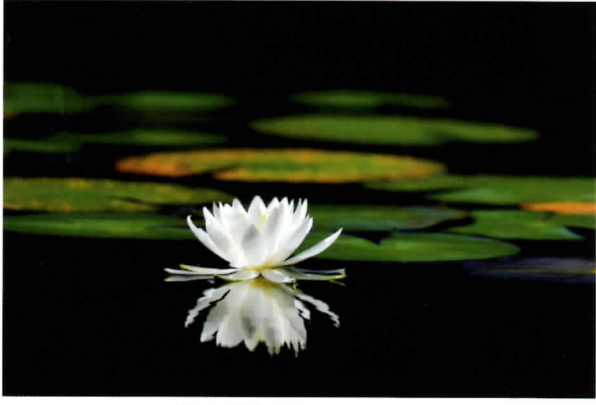
二四孝／唐婦人

金剛寺欄間彫刻十八世紀後半に活躍した黒保根町上田沢出身の彫物師関口文治郎有信作。本寺を訪れましたら、ご本尊様と欄間をご覧頂けたらと思います。

撮影：黒崎 晴夫



彫物師関口文治郎有信作
二四孝／唐婦人（童子）



「白睡蓮」撮影 岡 紀彦



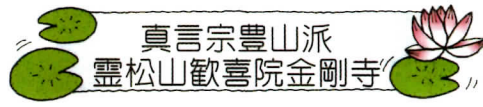
金剛寺役員退任
長期間ありがとうございました。

仏教のあれこれ

ちよつと☆真言宗

法話のつどい

昨年10月に行いました。
今年もいろいろ計画を考えておりますので、皆様ご参加よろしくお願ひします。



法話のつどい



とき:平成30年10月4日(木)
午後3時00分より
【約1時間30分】
ところ:金剛寺(苗ヶ島町)

法話テーマ「やわから真言宗」

お大師様の教えを日常の生活の中に落としこんだお話を、愉快にお伝えします。



(プロフィール)

昭和33年、東京都江戸川区生まれ。江戸川区鹿骨(しばね)密蔵院住職。真言宗豊山派布教研究所研究員、『光明』編集委員豊山流大師講詠匠。25歳の時、明治以来住職不在の密蔵院の住職になり自らの形ばかりの僧侶生活に疑問を持つ。以来、仏教とは何か、寺とは何か、僧侶とは何かを模索し続けている。日常の喜怒哀楽を仏教の知恵でさばく江戸っ子風の語り口が好評。



密蔵院住職

講師 **名取芳彦師**
なとり ほうげん



お祝いの時にまく華
散華

印度山日本寺

うら面



おもて面

和顔施

(いつも笑顔でたやさないこと)
にこやかな顔は、人の心を明るくします。
笑顔で人に接することも施しなのです。



悩むと
考えるは
違ひます



芳彦師

庫裏便り

あけましておめでとう
 今年はおききを送ってください、本当にありがとうございます。
 児童を代表し、金剛寺様にお礼申し上げます。



殊暑か何れ申し上げませ。
 二月廿七日 道だよりレ一三号を、惠送下さりまして、有難うございました。
 橋元良真師の論議、おもしろく、又大前田梁五郎の南方紀事も、興味を引きました。お礼申し上げます。 不二

寺報 道だより 読ませてもらう。
 大前田梁五郎から、お蔭渡しのほじり、いたるまじく、お話を、に法話です。金剛寺の、寺としての、生き、いろいろ、役職を終った、おぼろしさが、いじんで、い、道が、色、す、開、く、と、も、かんじ、よく、なじ、み、やす、く、感、じ、よ、う、な、時、代、を、先、の、感、じ、で、し、た。

長橋 良道様からの年賀はがき 松岡 登様からの年賀はがき 深澤 慎之助様からの年賀はがき
 年賀葉書を宮城小に贈りそのお礼のはがきです。

住職からのおすすめ本

- | | | | |
|-----|--------------------|-----|-----------|
| 題名 | 自分自身は人 | 題名 | よくわかる |
| 著者 | 和田 秀樹 | 著者 | 日本の歴史 |
| 発行所 | 新講社 | 著者 | 渡辺 昇一 |
| 定価 | 八〇〇円＋税 | 発行所 | ワック株式会社 |
| 題名 | あの人の心を見抜く | 定価 | 九二〇円＋税 |
| 著者 | 脳科学の言葉 | 題名 | 老年の品格 |
| 発行所 | 中野 信子 | 著者 | 三浦 朱門 |
| 定価 | セブン&アイ出版
六八〇円＋税 | 発行所 | 海竜社 |
| 題名 | さとりをひらくと人生は | 定価 | 一、四二九円＋税込 |
| 著者 | シンプルで楽になる | 題名 | エクハルト・トール |
| 発行所 | 徳間書店 | 著者 | 一、八〇〇円＋税 |



長岡 進・啓子ご夫妻からの年賀はがき

令和元年 回忌一覧

- 一周忌 平成三十年
- 三回忌 平成二十九年
- 七回忌 平成二十五年
- 十三回忌 平成十九年
- 十七回忌 平成十五年
- 二十三回忌 平成九年
- 二十五回忌 平成七年
- 二十七回忌 平成五年
- 三十三回忌 昭和六十二年
- 三十七回忌 昭和五十八年
- 五十回忌 昭和四十五年
- 百回忌 大正九年

追善供養は毎年ご命日に行うのが本義です。
 この一覧表は、一般的に行われている年回表を表したものです。



青少年悩み相談室

なんで学校に行けなくなったんだろう・・・
どうして いじめられなくちゃいけないの・・・
どうして あの時断れなかったんだろう・・・

抱え込まなくていいから お坊さんの話してみてもいいから
少しこころを軽くしてみませんか？

⇒ URL:<http://www.raijin.com/kongouji/>

どうか 気になる子がいましたら、そっと渡してください。



第3回 こどもからの教えて！お坊さん

小学校四年生のご質問

●「かねつき堂」はお寺にあって神社には無いのですか？

答) おぼうさん
おもしろい質問ですね！たしかにその通り神社には無いですね。お寺と神社では「考え方・目的・歴史」などが違うからだだと思います。

ご両親様へ
『鐘撞き堂』は、様々な説がありますが、その一つを説明しますと仏教では、人には百八の煩惱があるとされており、その煩惱を打ち消して、安穏にすごせるよう念じて、新年を迎える事が良いとの考えが、除夜の鐘となり、全国津々浦々に広まったと思われま。

上州大前田栄五郎と 霊松山歎喜院金剛寺 (前橋市苗ヶ島町)

「天下の和合人」として全国的にも有名な上州の俠客「大前田栄五郎」その菩提寺である金剛寺(群馬県前橋市)の志田洋遠住職の熱望により「赤城山 男の辛口徳利大前田栄五郎」を発売させていただきます。

近年、個人名(歴史上、偉人等)商標登録が難しい中、長年の月日を費やして商標登録を取得する事ができました。その過程の中には志田住職が長年にわたり「東日本大震災復興支援」への積極的な活動が認められた事が大きく寄与しております。

- ・大前田栄五郎生誕225周年記念・東日本大災害チャリティイベント開催
- ・福島県を度々訪問。その折りに言われた「福島のことを忘れないで下さい」の言葉に心打ち、現在も寄附を続けております。

今回、住職の思いに共感し「復興支援」の一つとして数量限定にて発売に至りました。(売上げの一部を志田住職を通して福島県の復興支援金として寄附)

男の辛口「大前田栄五郎」

過去から現在へ「男気」を伝える一献です。



1,800(税込) 販売/各酒店

近藤酒造の商品出荷率20%本醸造辛口とのマッチング是非楽しんで下さい。

編集後記

平成から令和に代わり早や三か月、創刊号から教えて十四号を発刊させていただきました。昨年は「名取 芳彦師」をお迎えし『やわらか真言宗』と題して御講演をいただきました。先生のお話に心から感謝と敬意を表します。

「金剛寺ホームページ」も五三、〇六五人以上のアクセスがあり、地方寺院ホームページとしてはアクセス数が多いと考えられますので、更にアクセス者の増加を願って、精進したいと考えております。

今月号表紙は、日蓮宗實相寺前住職 井出 存祐師に「縁は異なるもの」と題して執筆をお願い致しました。僧侶として、強く反省を促され、共に正に同感いたしました。次に、兼務寺「相應寺落慶法要」に参加して「題して渋谷美幸様に法要の感動を執筆いただきました。続いて、諸田なみ子様に「ミュージック・ケア」を投稿頂きました。正に愚僧に取り組ましては専門外の世界で有り、新鮮な刺激を受け大いに学ばされました。『ブツが先生を読んでは』と題して小学校四年生「中村 優里」さんに書いて頂きました。子供の素直さと感受性に、読書の必要性を強く感じさせて頂きました。又、小生が長く関わって来ました「行政相談委員」について、関係機関である、群馬行政相談センター西 敬徳様に「行政相談をご存知ですか?」を御寄稿頂きました。心より伏して感謝申し上げます。この「寺報」を毎年御覧いただき、丁寧なお葉書をお送りいただきました。医王寺住職 長橋 良道師には、過分なるお言葉をいただき心震える思いです。年賀状を深沢慎之助君(宮城小)・松岡 登様より残暑見舞いをお送り頂きました。

末筆となりますが、毎年心ある年賀状をお送りくださる長岡ご夫妻(進・敬子)に唯々感謝です。これからも様々な方々にご執筆をいただきたくお願い致します。